

## まずは分散登校、そして学校再開 ～新しい生活様式に～

約3か月にわたった臨時休校がようやく解除され、6月1日より分散登校により教育活動が再開しました。感染への不安がある中、感染予防の対応をとるとともに、生徒にも新しい生活の様式を指導しながら進めています。



最初の2週間は二学年ずつ、1～6(7)限の授業を行っていきました。15日からは、通常通りの時間で学校を再開しました。部活動も段階的に活動を拡大、3年生が出場できる代替の大会も実施が検討され、いくつかの部活動ではその日程が発表になりました。徐々に暑くなる気候の中、マスクの着用は熱中症にも注意が必要です。校内に生徒の声が響く日常が戻ってきました。



## 目指せ！キャンプインストラクター ～2,3年冒険教育～

アウトドアスポーツ系の授業のひとつ「冒険教育」は、美方高原自然の家の西垣幸造所長にご指導いただき、キャンプインストラクターの資格取得を目指して、8回にわたって授業が行われます。

6月8日は、キャンプの特性について教室での講義後、「まき割り」「たき火」等の実習を行いました。今後、テント設営、キャンプの生活技術、レクリエーションの実践などの講義、実習を行います。参加者が安全にキャンプを行い、その活動を適切にサポートできるインストラクターとなれるように学んでほしいと思います。



## パラスポーツ「ボッチャ」体験 ～1年生人権ホームルーム～

1年生のホームルームでは、パラリンピックの競技の一つである「ボッチャ」を体験して、パラスポーツの理解とともに、パラリンピックの歴史や意義を学び、共生社会に向けて生きる能力と態度を養う計画です。

6月24日には県教育委員会人権教育課の訪問指導があり、1年生の体験の様子を見ていただきました。また、7月には世界障がい者野球大会で活躍された岡原年秀氏を迎えてスポーツ講演会を実施予定です。



## 始動！次の一步を ～村高発 地域元氣化プロジェクト～



6月19日(金)約2か月遅れで、総合的な学習(探究)の時間で実施する「村高発 地域元氣化プロジェクト」の班別の活動がスタートしました。この活動は、村岡高校の地域との協働活動の中の柱の一つで、すべての生徒が5班8グループに分かれて取り組みます。今日は、担当の教員から各班グループの活動の紹介と今年度の計画を説明、生徒たちは具体的な実施計画と仮説を立てる作業を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響で、このプロジェクトの計画も大幅な変更を余儀なくされましたが、これまでの活動がバージョンアップできるようアイデアを出し合い、取り組んでほしいと思います。(写真は民芸班の様子です)

## 中学生の皆さんへ・オンライン説明会～7月24,25日開催～

8月中のオープン・ハイスクールは全県で中止となりましたが、村岡高校は「地域みらい留学」の合同学校説明会をオンラインで実施します。ぜひ参加してください。

[地域みらい留学ホームページからアクセスしてください。](#)

**7月の予定** 1日～ 求人票受付開始 1日 尿再検査 2日 内科健診(3年)  
6日 あいさつ運動 9日 内科健診(2年) 10日 漢字検定 総合⑥⑦限  
11日 進研模試・公務員模試(3年) 13日 内科健診(1年) 15日 ｽｰﾂ講演会③④限  
16～22日 期末考査 22日 救急法研修会 27日 総合型・学校推薦型選抜対策講座  
31日 終業式 \*教育相談 1、8、15日 \*28日～ 前期夏季補習(午後)